

## 第57回 多摩めぐり

2025  
10/12(日)

# 多摩を深める 日野の穀倉地帯を潤す用水と 流域の歴史に触れる（平～栗ノ須～東光寺）



日野用水取水堰



西玉神社（葵の紋がある）



笛継観音（東福寺）

「水の都日野」と呼ばれる日野市には、120 kmに及ぶ用水路が網の目状に市内を流れています。東京都で最も古い450年という歴史をもつ日野用水は永禄 10 年(1567)庄屋の佐藤隼人が戦国時代、八王子、日野地域を治めていた北条氏照より罪人をもらい受け開削しました。江戸時代には日野用水は 170 km に及び 3 千石もの石高をもたらし「日野は多摩の米蔵」とも呼ばれました。日野用水の現在の取水口は八王子市平町の平堰にあります。

古道に沿って日野用水が流れる八王子市平町、小宮町、日野市栄町の地域は、古くは平村、栗須村、東光寺村と呼ばれていました。平堰近くには多摩川に平の渡しがあり、徳川家康が天正 18 年(1590)八王子城視察後にこの渡しを渡り川越方面に向かったといわれています。東光寺道とも呼ばれた古道は、幕末に新政府軍に追われた新選組支援者の佐藤彦五郎の逃避行の道でもありました。

また、小宮町にある東福寺の「笛継観音」には北条氏照にまつわる逸話があります。

今回の多摩めぐりは、日野用水の取水堰がある多摩川の土手、日野用水掛樋が渡る谷地川、今も田んぼが見える日野用水下堰堀を歩き、人々の生活と水との深い関わりを感じながら、歴史の一端に触れます。



日野用水（石川堰脇）



谷地川に架る日野用水



お茶屋の松

## ◆コース◆

J R 中央線・日野駅（集合） ⇒ [バス停]平町 → <sup>さいたま</sup>西玉神社 → 大蔵院 → 平の渡し跡 → 日野用水取水堰 → 八石下公園（昼食） → 関根家長屋門 → 東福寺 → 古甲州道 → 石川堰（旧谷地川） → お茶屋の松 → 日野用水掛樋 → 日野用水・下堰堀 → 成就院 → [バス停]東光寺小入口 ⇒ 日野駅（解散）【歩行距離 約 5.7km】

- \*集合日時 2025 年 10 月 12 日（日） 9 時 30 分 雨天中止
- \*集合場所 JR 中央線 日野駅 解散は 14 時半頃を予定しています。
- \*ガイド 前田けい子、味藤 圭司
- \*費用 参加費 1,200 円（資料代・傷害保険料 等を含む）
- \*募集人員 30 名（先着順）
- \*持ち物 弁当・飲み物・敷物・雨具・筆記用具 他
- \*申込方法 氏名・年齢・住所・電話番号を明記し、Eメールで「多摩めぐりの会」事務局へ
- \*申込と問い合わせ 「多摩めぐりの会」事務局 Eメールアドレス⇒ [tama.meguri@gmail.com](mailto:tama.meguri@gmail.com)
- \*当日の連絡先 090-7286-2124（味藤・みとう）

申込締切 10月5日(日)

予告 次回は、11月26日(水)に、第58回多摩めぐり「日の出山荘」を予定